

九州電力玄海原発関連の動き

「2017年3月」

2017年

- 3月7日 九州電力玄海原発3、4号機について、玄海町の岸本英雄町長が、九電の瓜生道明社長と電話で会談し、再稼働に同意する意向を伝えた。再稼働に向けた地元の同意手続きの焦点は県議会と山口祥義知事の判断に移る。
<http://www.asahi.com/articles/DA3S12830450.html>
- 3月13日 九州電力玄海原発の再稼働について、佐賀県が設けた有識者による「広く意見を聴く委員会」の第3回会合が開催。26人の委員が再稼働について賛否を含む様々な意見を表明。すべての会合を終えた。
<http://www.asahi.com/articles/ASK3D5WKLK3DTTHB008.html>
- 3月14日 九州電力が、玄海原発1号機の廃炉計画について補正書を原子力規制委員会に提出。補正書提出は2月以来で2回目。廃炉計画の審査は終盤にさしかかっており、近く廃炉計画が認可される見通し。
- 3月16日 九州電力の玄海原発3、4号機の再稼働に関する住民説明会が、松浦市志佐町の市文化会館で開催された。中村法道長崎県知事は終了後「地域の不安の声や疑問を国や九電に伝えていく」と強調。再稼働への賛否については「安全性の確保を含めて国が判断すべき課題」と。
- 3月18日 九州電力玄海原発3、4号機の再稼働に関し、山口祥義佐賀県知事が、県内20市町の首長が集う会合「GM21ミーティング」を開催。伊万里市長ら3人が改めて反対し、8人が容認、9人は賛否を明確にしなかった。山口知事は終了後、県議会の意見を聴くため臨時議会の招集も検討する考え。
<http://www.asahi.com/articles/ASK3L5T25K3LTTHB00Q.html>
- 3月20日 九州電力の玄海原発3、4号機の再稼働に関する住民説明会が、平戸市で開催された。質問に対して「地元」範囲示さず。
<http://www.asahi.com/articles/ASK3M3C63K3MTOLB002.html>
- 3月21日 九州電力が再稼働を目指している佐賀県の玄海原子力発電所について、壱岐市の白川博一市長が、「国が絶対安全とすることができないならば、市民は不安を払拭できない」と発言し、再稼働に反対表明。
<http://www.asahi.com/articles/ASK3Q410VK3QTOLB008.html>
- 3月23日 長崎県の平戸市議会が、本会議で、九州電力・玄海原子力発電所の再稼働に反対する意見書を可決。長崎県内の議会では初。
<http://www.saga-s.co.jp/news/saga/10101/419034>

3月23日 九州電力玄海原発3、4号機の再稼働に関し、福岡県糸島市での住民説明会が開催。再稼働や避難計画を疑問視する声が相次いだ。

<http://www.saga-s.co.jp/news/saga/10101/416243>

3月24日 原子力規制委員会が、は、電力各社が運転開始から40年を前に廃炉を決めた4原発5基の作業工程を定める「廃止措置計画」を29日に認可する方針を決定。原発1号機、美浜原発1、2号機、島根原発1号機、玄海原発1号機。

3月27日 唐津市議会の玄海原発対策特別委員会が、九州電力玄海原発構内で安全対策の現状を視察した。

<http://www.saga-s.co.jp/news/saga/10101/417279>

3月29日 原子力規制委員会は29日の定例会で、廃炉が決まっている老朽4原発5基の廃止措置計画について審査したが、認可を見送った。規制委事務局の原子力規制庁がまとめた資料の一部に、分かりにくい記述があったため。修正のうえ、来月5日以降の定例会で再度審査する。4原発5基は、日本原子力発電敦賀1号機(福井県)▽関西電力美浜1、2号機(同)▽中国電力島根1号機(島根県)▽九州電力玄海1号機(佐賀県)。(毎日新聞)

3月31日 九州電力が、玄海原発の新燃料などの2017年度輸送計画を発表。発電所内の通常作業で発生する作業着などの「低レベル放射性廃棄物」が入った輸送容器、ドラム缶480本を6月、青森県六ヶ所村の日本原燃低レベル放射性廃棄物埋設センターに搬出する。

<http://www.saga-s.co.jp/news/saga/10101/418357>